

山 (18 日)、飯豊山 (31 日)。  
 9月=若松 (4 日)、磐梯山 (7 日)、戸隠  
 山 (16, 17 日)。  
 11月=佐渡 (27, 28 日)。

#### 1899 (明治 32 年)

3月=大鰐、黒石、八甲田山。  
 4月=弘前、八戸、小島谷、盛岡。  
 5月=山北 (8 日)、上栲植 (13 日)、鳥取  
 (22 日)、大山 (26 日)、米子 (27 日)、松  
 江 (30 日)。  
 6月=多良岳 (10 日)、長崎 (15 日)、阿蘇  
 山、祖母山 (24, 26 日)、九重山 (28 日)。  
 7月=弘前、利尻島 (25 日)。  
 8月=禮文島 (1 日)、幌別 (8 日)。  
 10月=青森、大館。

#### 1900 (明治 33 年)

1月=函館。  
 5月=茅木。  
 6月=徳島 (2 日)、劔山、人吉、市房山。  
 7月=種子島、屋久島、奄美大島、青森。

#### 1901 (明治 34 年)

1月=朝鮮某地。  
 5月=長崎、五島、對馬。  
 6月=鎮南浦、京城。  
 7月=朝鮮某地。  
 8月=元山。  
 10月=元山。

#### 1902 (明治 35 年)

5=青森、野邊地、石巻 (30, 31 日)。  
 6月=金華山 (2 日)、蟹田 (13 日)。  
 10月=田名部 (4 日)、恐山 (11 日)。  
 11月=青森縣蟹田。

#### 1903 (明治 36 年)

4月=有馬 (13, 14 日)、宮島 (17 日)。  
 5月=臺北 (1 日)、淡水 (22 日)、苗栗 (27  
 日)。  
 6月=臺灣 Mt. Suitenka?、地藏ヶ岳。  
 8月=青森。

#### 1904 (明治 37 年)

2月=青森。  
 6月=函館 (1 日)、秋田、高湯 (24 日)。  
 7月=嬉湯 (1 日)、輕井澤 (10 日)、妙義  
 山 (20 日)。  
 8月=八甲田山 (11 日)。  
 9月=神居古潭。

10月=岩木山。  
 11月=青森

#### 1905 (明治 38 年)

6月=早池峯山 (5, 6 日)  
 7月=十勝、後方羊蹄山、甲斐駒ヶ岳。  
 10月=陳場  
 11月=御岳、駒ヶ岳、乗鞍岳

#### 1908 (明治 41 年)

6月=北海道ヒラフ (11 日)。

(佐藤正己)

### ○ The Botany of Captain Beechey's Voyage ノ出版年代ニ就イテ

(Bibliographical Note on HOOKER et ARNOTT's Bot. Beech. Voy.)

HOOKER, ARNOTT 兩氏ノ the Botany of Captain Beechey's Voyage ノ title page  
 ニハ London, 1841 年ト明記シテアルガ、勿論コレハ事實ニ忠實ナモノデハナイ D. JACKSON  
 ハ Journ. Bot. **31**, p. 298 (1893) ニコノ書ノ出版年代ヲ研究發表シタ。ソレニ依レバ同  
 書ヲ 10 部ニ分チ、ソノ各ニ就キ出版年代ヲ決定シタガ、惜イ事ニ第 5 部 (p. 241-288) ノ

ミガ決定デキナカツタ。コノ中ニハ琉球及ビ小笠原島ノ植物ニ關スル研究モアリ、日本ニハ重要ナ部分ナノデアル。併シコレニ前後スル第4部ト第6部ノ中間ニ出版サレタモノトシテ 1836-1840ト限定スル事ハ出來タ。

第5部ト DE CANDOLLE ノ Prodr. トヲ引用關係デ比較シテ見ルト、Compositæ, Goodenoviæ, Campanulaceæ, Vaccinæ, Ericæ ガ丁度問題ニナル所デアル事ガ判ル。下表ニ於テ左ハ HOOKER, ARNOTT ノ書中ノ種名、右ハ其ノ中ニ引用サレタ Prodr. ノ卷數、頁及ビ出版年代、〔 〕ニ入レタノハ Prodr. ニ出テ居ナガラ引用サレナカツタモノデアル。

- |        |  |  |
|--------|--|--|
| p. 265 | <i>Vernonia cinerea</i> LESS.                | [5, p. 24 (1836)]                                    |
| „      | <i>Eupatorium Reevesii</i> WALL.?            | 5, p. 179 ( „ )                                      |
| „      | <i>Blumea lacera</i> DE CAND.                | 5, p. 436 ( „ )                                      |
| „      | <i>Dichrocephala latifolia</i> DE CAND.      | 5, p. 372 ( „ )                                      |
| „      | <i>Hisutsua! serrata</i> H. et A.            |  |
| „      | <i>Wedelia calendulacea</i> LESS.            | 5, p. 539 ( „ )                                      |
| „      | <i>Wollastonia prostrata</i> H. et A.        |  |
| „      | <i>Artemisia indica</i> WILLD.               | 6, p. 114 (1837)                                     |
| „      | <i>Maranta Cotula</i> DE CAND.               | 6, p. 13. ( „ )                                      |
| „      | <i>Emilia sonchifolia</i> DE CAND.           | 6, p. 302 ( „ )                                      |
| „      | <i>Carthamus tinctorius</i> LINN.            | 6, p. 612 ( „ )                                      |
| p. 266 | <i>Cirsium japonicum</i> DE CAND.            | 6, p. 640 ( „ )                                      |
| „      | <i>Lactuca sativa</i> LINN.                  | [7, p. 138 (1838)]                                   |
| „      | <i>Prenanthes integra</i> THUNB.             | [7, p. 193 (1838)— <i>Youngia lanceolata</i><br>トシテ] |
| „      | <i>P. japonica</i> THUNB.                    | [7, p. 194 (1838)— <i>Youngia japonica</i><br>トシテ]   |
| „      | <i>Scævola sericea</i> FORST.                | [7, p. 506 (1839)]                                   |
| „      | <i>Wahlenbergia marginata</i> ALPH. DE CAND. | [7, p. 433 ( „ )]                                    |
| p. 266 | <i>Vaccinium bracteatum</i> THUNB.           | [7, p. 573 (1839)]                                   |
| „      | <i>Rhododendron indicum</i> DON.             | [7, p. 726 ( „ )]                                    |

コレニ依ツテ見ルト、Prodr. 6 マデハ忠實ニ引用シ、時ニハ異名ノ引き方マデ DE CANDOLLE ニ從ツテキル著者等ガ7 以後ハ引用モセズ又 DE CANDOLLE ノ意見モ採用シテキナイ事ガ判ル。以上ニヨリ第5部ハ少クトモ 1837 年以後ニ出版サレタモノデ、先ヅ 1837-38 年ト推定サレル。Prodr. 5-7 (1836-39) ヲ通ジテ (7 ノ Compositæ ノ補遺ニモ)、HOOKER ET ARNOTT ノ著ノ第5部ノ引用ガナイ。(津山 尙 T. TUYAMA)